

SDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



～私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています～

令和3年12月

一般社団法人石川県造園緑化建設協会

SDGsの取り組みにあたって

一般社団法人石川県造園緑化建設協会

会 長 岸 省三

SDGs（持続可能な開発目標）は、2001年に策定されたMDGS（ミレニアム開発目標）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残されないことを誓っています。

SDGsは国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本においても、積極的な取り組みが行われています。

当協会におきましても、平成25年に新しい公益法人制度により、社団法人から一般社団法人に移行し、それ以降、公益目的支出計画に基づき、防災事業や里山再生活動、地域連携沿道景観創出事業を行い、令和2年度に公益目的支出計画の実施が完了したことから、令和3年度から「公園のリニューアル整備事業」や「ふるさと景観創出事業」など新たな事業計画を策定し、それらの事業に取り組んでいるところであります。

我々の協会の活動は、まちの緑化や環境の保全に深く関係しております。協会全体でSDGsに取り組み、事業計画をより具体化し、緑化の推進を図るとともに、地域と社会の貢献に努めてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

SDGs（エスディージーズ）への取り組みについて

1 SDGs（エスディージーズ）とは

- ・SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。
- ・SDGsは2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193ヶ国が2016年から2030年までの15年間で達成するために掲げた目標。
- ・SDGsは17の大きな目標とそれらを達成するための具体的な169のターゲットで構成。

SDGs 17の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2 SDGsに取り組むメリット

- ・社会課題の解決に取り組むことで、協会としての評価が高まり、協会のブランドイメージが向上する。長い目で見ると、そのことが、市場の開拓につながる可能性もある。
- ・協会の掲げる事業計画をSDGsに位置づけることにより、計画の目標がより具体的になる。
- ・SDGsをビジネスチャンスとして捉えた企業が注目を浴び、環境や社会に配慮した優良企業というイメージアップにもつながる好環境も生まれている。

3 国内の造園業のSDGsへの取り組み

みどり豊かな空間づくり

- 生物多様性さっぽろ応援宣言
- 公園・緑地・街路樹の整備・維持管理
- ピオトープの施工・維持管理



笑顔を生み出すまちづくり

- さっぽろまちづくりスマイル企業の認定
- インターンシップ・職場見学の実施
- 教育環境でのボランティア
- 社会貢献としての清掃活動
- 地域の景観に配慮した職場
- 公園の指定管理におけるイベント開催



安全安心な暮らしづくり

- ISO45001の認証取得
- 健康事業所宣言
- 女性活躍の推進
- 障がい者の雇用
- グリーンオフィスの整備
- ユニバーサルデザイン的设计
- 札幌市ワーク・ライフ・バランスステップ3の認証取得



4 当協会の SDGs への取り組み

事業 1：令和の時代のニーズに合った新たな公園へのリニューアル整備事業

①安全安心な緑地空間の整備

- ・多くの公園で樹木が大きくなりすぎ、外部から公園内が見通せず、防犯上、好ましくない状況となっている。
- ・外部と公園内を遮断している樹木を整理したうえで、緑陰となる樹木を新たに適切な位置に植栽し、明るく緑陰のある公園にリニューアル整備。
- ・昭和の時代に植栽され、古木となっており、落枝や倒木の危険性のある樹木を整理し、新たな植栽計画を立案し、安全安心な空間を創出するとともに、新たな緑陰の形成を図る。



②地域の住民のコミュニティーの形成を図る広場等の整備

- ・地域の人々が集い、イベントなどが開催できるコミュニティー広場を設置した公園へのリニューアル整備。

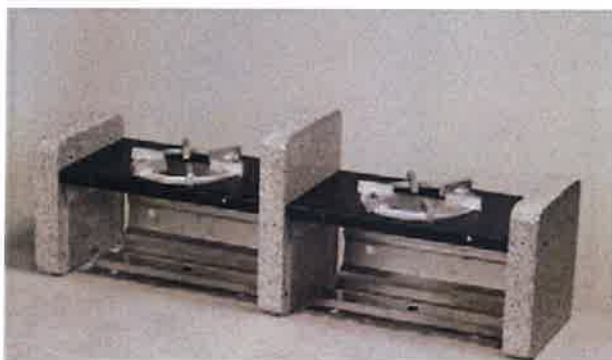


③災害時の避難場所としての空間づくり

- ・かまどベンチなど防災施設の整備の推進。
- ・避難用テントが設置可能な芝生の広場の整備。



かまどベンチ



芝生広場



事業2：能登へいざなう「ふるさと景観創出事業」

①植樹等による能登の里山再生及び生物多様性の創出

- ・能登の水源の森づくりのための植樹の実施。
- ・樹木の整理により、自生植物を生育し、森の再生。
- ・竹林の整理、更新等による森の再生。
- ・伐採した竹を、竹炭などで、リサイクル。
- ・能登特有のふるさと景観を創出する緑地計画の立案。



②地域のイベントへの参画

- ・「奥能登国際芸術祭」の開催に合わせ、沿道に飾花したプランターを設置し、芸術祭に彩りを添える。
- ・その他、能登で開催されるイベントへの積極的な参画



飾 花



事業3：地域連携沿道景観創出事業

- ・ いしかわ我がまちアドプト制度として、平成23年度から当協会は活動団体となり、石川県と協定を結んでいる。
- ・ 南加賀地区の主要地方道2箇所、金沢地区の主要地方道1箇所において、飾花、除草、清掃等の道路美化に努めている。
 - 南加賀地区：主要地方道 加賀インター線（加賀インター前）
主要地方道 小松加賀線（小松空港前）
 - 金沢地区：主要地方道 金沢停車場線（むさし西交差点）
- ・ 引き続き、継続して、市民の参加を呼び掛け、行政と連携し、良好な沿道景観の創出に努める。



アドプト活動（飾花）



事業4：会員支援事業～後継者育成のための取り組み～

①まちの緑化や災害時の対応に関する講習会の実施

- ・地域住民を対象に緑化に関する講習会の開催。
- ・災害時の対応に関する講演会等の開催。



②後継者育成のための取り組み

- ・造園業により一層の理解を深めてもらうため、小・中・高校生など幅広い年代を対象に、体験学習会や出前講座を実施。



講演会活動

